

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

≪無断転載禁止≫

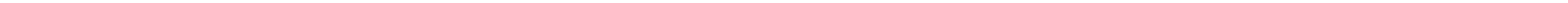
レジメン番号： SCLC-104

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
小細胞肺がん	CDDP+AMR	21日間	4~6コース	<input checked="" type="checkbox"/> 進行/再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	高	Ann Oncol 16: 430-36, 2005 J Clin Oncol 24: 5448-53, 2006

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
①	デキサート	9.9mg	点滴静注	30分	↓																				
	パロノセトロン	0.75mg/50mL																							
	アロカリス	235mg																							
	デキサート	6.6mg	点滴静注	15分		↓	↓																		
	生理食塩液	50mL																							
②	カルセド	40mg/m ²	点滴静注	5分	↓	↓	↓																		
	生理食塩液	50mL																							
③	硫酸Mg	8mL	点滴静注	60分	↓																				
	フィジオ70	500mL																							
④	マンニトール	300mL	点滴静注	60分	↓																				
⑤	シスプラチン	60mg/m ²	点滴静注	60分	↓																				
	生理食塩液	250mL																							
⑥	フィジオ70	500mL	点滴静注	60分	↓	↓	↓																		

＜注意事項/備考＞

- ✓ 催吐リスク：高：NK1受容体拮抗薬+5HT3拮抗薬+DEX
- ✓ CDDP：腎毒性軽減目的にMg投与
- ✓ CDDP：アミノグリコシド系抗菌薬の併用で腎機能障害のリスク増大。尿量、体重の変化に注意し、必要に応じて利尿薬などを検討
- ✓ 聴力障害（CDDP）：総投与量300mg/m²以上で高音域の聴力低下、耳鳴りなどの発現↑
- ✓ AMR：他のアンスラサイクリン系抗がん剤を限界量使用している場合には注意（心筋障害発現の可能性あり）



∴>>

